

みのり句会 兼題 『バンガロー』

〔選と評〕 ホトトギス同人 福島 テツ子

風と葉のメロディー響くバンガロー 菅野 信子

(評) 自然につつまれていているバンガロー周辺の静けさ、風と葉のメロディーの響き なんとも心地よく俳句が仕上がっている。

◇バンガロー夜の静寂しじまの闇を知る 秋草 君枝 (あいうえお順)

◇冷そうめん流して抜けて策の中 石川 れい子

◇青春の思い出ありしバンガロー 江刺 厚子

◇星が降る心にも降るバンガロー 小野瀬 俊江

◇中山道ほたる一匹草の先 瓦崎 八重子

◇早よ来いと友が呼んでるバンガロー 白木 弘子

◇草の香を真近に感じバンガロー 田中 弘子

◇山間にひっそり佇むバンガロー 辻 はるお

◇思い出のキャンプの楽しさ同級生 長坂 美佐子

◇満ちたりた子等の寝顔やバンガロー 中村 くみ子

◇天の川右と左に目立つ星 野口 貴美子

◇静かなり母の八月十五日 榎 卓

◇小さな家童話の世界バンガロー 福島 テツ子

十月の兼題は、「秋高し」です。

一人三句ですが、兼題二句、他の季語で一句作ってください。

投句の方は、全句を書いた紙一枚、短冊に一句ずつ、百十円切手

三枚(参加費)、返信用封筒(百十円切手と記名)を同封して月末迄に

「事務局」に届くようにお送りください。(十月より郵便料金値上がりします)

「句会たまりば」は、第二火曜日、十時半からです。



「支え合う会 みのり」の歩み

- 一九八三年 「稲城の老後を支える会」として発足
- 一九八四年 会食会サービスをスタート
- 一九八九年 「稲城の老後を支え合う会」と改称
毎日型の配食(夕食)サービスを開始
- 二〇〇〇年四月 特定非営利活動法人
支え合う会 みのりと改称
- 二〇〇二年 稲城市委託事業
高齢者食生活改善事業を開始
- 二〇〇三年 稲城市委託事業
かがやき倶楽部みのりを開始
- 二〇一二年 居場所作り「カフェいしださんち」を開始
- 二〇一六年 他機関との地域社会づくり連携事業開始
- 二〇一九年 東長沼に活動拠点を移転

「現在の活動」

- ◎配食サービス
(東長沼の拠点で週5回 月々金)
- ◎会食会サービス・クッキングクラブ梨穂
(公共施設等 9会場で開催)
- ◎ミニデイサービス『たまりば』
- ◎稲城市委託事業(高齢者食生活改善事業)
- ◎訪問サービス
- ◎居場所作り「カフェいしださんち」
- ◎介護予防・日常生活支援総合事業A
かがやき倶楽部みのり
- ◎他機関との連携事業
- ◎広報活動(会報・ブログ) など

この法人は、高齢者の福祉を自分の問題として考え、支え合いの精神で、在宅福祉活動を行い、支える者と支えられる者が対等な立場を保ち、住み慣れた地域に安心して、生き生きと住み続けられる地域社会づくりに寄与することを目的とします。